

第 1 回看護研究会

(新任看護師・職員教育研修会)

令和元年 6月11日 (火)

岡山県医師会館 2階 三木記念ホール

〔午前〕 講演

『心に寄り添う医療接遇 ―おもいをかたちに―』

講師 金田病院 フロアマネージャー

コンシェルジュ 細田 麻衣子 氏

〔午後〕 講演

『人生 100 年時代の到来と看護の未来

「いのち・暮らし・尊厳をまもり、支える看護への道」』

講師 川崎医科大学総合医療センター

看護部長付参与 山田 佐登美 氏

(一 社) 岡 山 県 病 院 協 会

(注：類似した感想はまとめています。)

第1回看護研究会（新任看護師教育研修会）のアンケート集計（令和元年6月11日）

（ 52病院 245名 出席 ・ 226名 回答 ）

1. 講演『心に寄り添う医療接遇 ―おもいをかたちに―』を聞いて。

（講師：金田病院 フロアマネージャー コンシェルジュ 細田 麻衣子 氏）

A.

a.大変勉強になった	153名	c. 勉強にならなかった	1名
b.勉強になった	72名	d.全く勉強にならなかった	0名

未記入0

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ 分かりやすい内容だった・とても分かりやすかった(2) ・ 勉強になった
- ・ すぐにでも実践できることを教えていただき、明日にでも生かしていきたいと思った
- ・ ご自分の経験を交えてお話を下さり聞きやすかった。ありがとうございました
- ・ ご自身の体験を踏まえ、仕事や日常生活でも活用できる接遇について講演していただき、とても有意義だった
 - ・ 医療接遇を大切に患者さんと関わっていこうと思う(2)
- ・ 新人らしく頑張っていく
 - ・ 患者・家族様への医療接遇について詳しく知れた(2)
- ・ 初心に戻り自分を見直していきたい
 - ・ 接遇の必要性、意味を再確認することができた(2)
- ・ 自分の気持ちの再認識・整理ができた
 - ・ 自分と同じ心境の人がいることが分かった
- ・ まだ新人なので積極的に物事に取り組んでいきたい
- ・ 接遇がより詳しく理解でき、態度やマナーを改めるいい機会になった
- ・ 接遇に関して、知識が増えた・改めて理解できて良かった(2)
- ・ 接遇、マナー、患者だけでなく職場スタッフとの関わり方を振り返り改めたい
- ・ 患者・家族・職場の人への接遇を意識していきたい(2)
- ・ 医療接遇を意識し、丁寧に・思いやりをもって働こうと思った(2)
- ・ 患者・先輩とどう接すればいいか、言葉遣い等の接遇が分かった
- ・ 患者様に対して、今自分ができる精一杯の対応をしていきたいと思った
- ・ 新人としてフレッシュさを忘れず、笑顔で自分にできることを一生懸命やっていこうと思った
- ・ 患者とのコミュニケーションに自信がなかったが、自分の接し方の基礎を見直そうと思った
- ・ 自分の接遇に自信が持てた。意識してできていることとともっと気を付けたらいい所が分かった
- ・ 先輩の患者さんへの対応の仕方で疑問に思う部分があったが、講演を聞きその対応は正しくないこと、自分はそれに染まらないように丁寧な対応をしていきたいと思った
- ・ コミュニケーションも潤滑剤として使用していく
- ・ 「コミュニケーションは潤滑油」と学び、患者さんや家族、他職種ともっとコミュニケーションをとりたい
- ・ 見方を変えて前向きに頑張っていきたいと思った(2)
- ・ 嫌な気持ちになった時、見方を変えて受け止められるようにしていこうと思う
- ・ 失敗から逃げるのではなく、なぜ失敗したかを考え次に繋げていくことが大切だと学んだ。自分もこの姿勢をしっかりと取り入れて成長できるように頑張ろうと思った
- ・ 今ある不安を原動力に！ 失敗を成長の糧として考えることの大切さを考えさせられた。その成長が自分の看護に繋がっていくと思った
- ・ 失敗や傷ついたことをそのままにせず、気づきに変えていく力にしようと思う
- ・ 新人だからこそ気づいた点を1つずつ解決し、自分なりの“看護”を身につけていこうと思う
- ・ ないものねだりをせず、今の自分と向き合い、その時にできることをコツコツ積み重ねて、少しずつ自分のペースで成長していきたい

- ・ 知識や技術に自信がなくても、自分ができること「笑顔・挨拶など」をしっかりとしていこうと思った
- ・ 今自分が悩んでいることそのものだったため心にグッときた。コミュニケーションが苦手で話し言葉の語尾をどのようにつなげればよいのか分からなかった。またコミュニケーションに躓いたら、資料を振り返り、笑顔と何気ない声掛けを大切に患者様と接したいと思った
- ・ できることも増えてきたが、先輩の見守りのもとでできることもあり、先輩の負担が大きく患者さんも不安にさせてしまうことがあると思う。少しでも不安や恐怖を感じさせないように知識・技術を向上させ、様々なことを学び、次への一歩へと向上できるようになりたいと思った
- ・ 技術も知識もまだまだ未熟で、少しでも早くできるよう勉強したいが残業もあり、休日は疲れて寝てばかりで気持ちに行動がついて行っていない。患者からすれば、知識・技術があることが当たり前と講演の中であった。1日1つでも分からないことを分かるようにしていき、またコミュニケーション時の接し方をもっと考えていかなければと思った
- ・ できることはまだまだ少なく慣れないことも多いが、言葉遣いや笑顔での対応は新人でもできることなので心掛けていきたい。これからは意識的に行動を変えていけるようにしたい
- ・ 接遇は難しいと思っていたが、医療接遇は丁寧な言葉で会話することも大切だが、分かりやすく伝えることが大切だと思えることができた
- ・ 技術的には未熟だが、先輩と同様にできることとして、身だしなみを整えたり笑顔で接したりすることができると感じたため、実践していきたい
- ・ 複雑な技術ができない今、今日聞いた接遇ならすぐにできると思いき嬉しくなった。前職がサービス業だったので、「医療接遇」にとっても興味があった
- ・ 接遇が患者さんに与える影響の大きさがとてもよく分かった
- ・ 人との接し方を意識して取り組んでいこうと思った(2)
- ・ 患者様に(心に)寄り添う看護をしていきたい(2) ・ 相手の気持ちを考えた接遇(2)
- ・ 思いやりを持って患者さんへ対応する(2) ・ 笑顔・心に寄り添う大切さを改めて感じた
- ・ 接遇は接遇でも、患者が何を求めているのかに気づける医療接遇を身につけていきたい
- ・ 患者の立場(気持ち)になり、業務を行うことが重要と気づくことができた(2)
- ・ 心のケアを行い、患者様・ご家族に選ばれる病院の看護師を目指したいと思った
- ・ 医療における看護はヒューマンサービスなので、心遣いが大切になってくるのだと学んだ
- ・ 常に笑顔を意識し、体だけでなく心のケアもできるようになりたいと感じた
- ・ 患者さんや家族に対して思いやりを持って接していくことの重要性を再認識できた。今後、自分の接し方を時々振り返り、思いやりのある看護ができるよう努めていきたい
- ・ マナーに心を付け加えた、思いやり・気配りを考えて対応していきたい
- ・ 患者さんに対する声掛けや、看護以前の、人としても思いやりを大切にしていく
- ・ 技術や知識だけでなく、人間として成長して思いやりのある対応をしようと思った
- ・ 初心を忘れず、患者さんに優しい医療が提供できるよう笑顔で頑張りたいと思う
- ・ 細かい言動が相手に残るものと考え、思いやりを持ち、笑顔で関わられるように意識しようと思った
- ・ 丁寧な声掛け ・ 患者様への声かけ、言葉遣いを実践したい
- ・ 患者さんの目線に合わせて話しかけることを心掛けたいと思った
- ・ 患者さんに話すときの表情だけでなく、顔の角度も注意しようと思った
- ・ 改めて患者さんへの自分の対応を考え直し、笑顔で目を合わせて対応していきたいと思う
- ・ 言い方を変えるだけで、相手が思う第一印象が違うことが学べた
- ・ 言い方や表情一つで自分の立場を良くすることができるのだと感じた
- ・ 挨拶・電話など、イントネーションを第一声に持つてくること。明るい印象が良い!
- ・ 印象は相手や第三者が抱くものということを忘れない

- ・ 第一印象で関わり方が異なるので、心掛けて行いたい
- ・ まずは第一印象をプラスに与えられるよう頑張りたい(2)
- ・ とても良いお話だった。第一印象は大切だと思った。自分の気持ちは“くもり”だが、10年程経験した人も、新人の頃は自分と同じ気持ちなのだと思います少し元気が出た
- ・ 接遇により、相手に与える印象や評価に繋がるということが分かった
- ・ 自分の頑張りは他の人が見て評価してくれるので、これからも頑張っていきたい
- ・ 自分の態度は、思っている以上に他の人に評価されていると改めて思った
- ・ 当事者同士だけでなく、第三者にも評価されていることも意識して患者や医療者等と接する
- ・ 医療者の印象がその病院の評価につながるという点について、改めて医療接遇の重要性に気づくことができた。特に言葉遣いについて、肯定形を積極的に使えるように意識付けをしていきたい
- ・ 日頃の患者さんに対する受け答えも病院のイメージになってしまうので、言葉遣いや態度、服装に気を付けていきたいと思った
- ・ 笑顔は心掛けているが、視線や言葉遣いなど、自分は病院の一員であるため良い病院と評価してもらえよう頑張る必要があると思った
- ・ 声かけや笑顔で印象がこんなに良くなるとは。接遇の大切さを改めて感じた
- ・ 表情、声掛けや言葉遣いで印象がすごく変わることが学べた。日頃から心掛けていきたい・気をつけていこうと思った(3)
- ・ 患者さんの目線に立った医療者への印象を学び、今後の態度・言葉遣い・表情への参考となった
- ・ 第一印象がとても大切であり、挨拶や姿勢・態度が大切ですぐ実践できることなので意識していきたい
- ・ 視覚情報が55%もあると知った。今までの自分の第一印象は大丈夫だったかなと不安に思った。患者さんが話しやすいように、身だしなみ・態度・笑顔を忘れないようにしたいと思った
- ・ 身だしなみや言葉遣いはすぐに改善していけるものなので、今まで以上に接遇を意識したいと感じた
- ・ 相手を思いやることが伝わるような言葉遣い・身だしなみ・表情を1回1回心掛け、それが習慣に、当たり前のようにできるように努力したい
- ・ まず身だしなみ（服の汚れ）を確認し、気をつけていきたい
- ・ 患者への思いを伝えるため、身だしなみ、言葉遣い、態度など形として表していきたい。病院を居心地の良い場所にしていきたい
- ・ 日頃の表情・笑顔に気をつける(3) ・ 言葉遣いに気をつけて・注意していこうと思う(3)
- ・ 忙しいときほど言葉を添える ・ 言葉遣い、自分の行動から意識していきたい
- ・ 常に周りから見られているという意識を持ち、表情や行動に注意し、笑顔を忘れずに取り組む
- ・ 患者さん・家族に関わるときの対応の仕方や言葉遣いについて改めて学べて良かった
- ・ 患者さんやその家族と関わるときの、態度・言葉の選び方に気をつけたい・見直していきたい(2)
- ・ 患者さんと会話するときには、患者さんがどう受け取るかしっかり考えながら、アイコンタクトや言葉遣いに気をつけて行っていきたいと思う
- ・ 言葉遣いに気をつけ、病院の一員としての責任を持っていきたいと思う
- ・ 言葉ひとつで信頼関係が築かれるということは、患者だけでなく職場の先輩に対してでもあるので、コミュニケーションをしっかりと図り、早く馴染めるように頑張りたい
- ・ 患者・家族や職場で人間関係を構築していく上で、見た目・言葉遣い等今日のことを生かしていく
- ・ 態度や言葉遣いを大切に、心に寄り添った親しみの持てる態度で患者さん・家族と接していきたい
- ・ 看護とは優しさをベースにしていると思っているので、表現方法に注意して対応していきたい
- ・ 言語的コミュニケーションができない患者さんが多く、声掛けや笑顔を忘れてしまうことが多いため、新人だから分かる患者さんの思いがあると思うので、心掛けたいと思った
- ・ 今はできる事も少ないので、患者さんとの関わりを大切に、笑顔を心掛けていきたいと思った

- ・ できることは何かありますか？という言い方で、関わりを持ちたいと思う
- ・ 患者と話をする時、本日の内容を考えながら接していこうと思った
- ・ クッション言葉を用いたり、肯定形で意識を変えられるよう、関わったりすることを心掛けたい
- ・ 電話が不安で声が小さくなっていたが、ハキハキ“少々お待ち下さい”と言えるようにする
- ・ 電話対応での最初の挨拶を大切にし、声のトーンに気をつけたい。クッション言葉を用いて丁寧な言葉を意識していこうと思った
- ・ 「依頼形で話す」ことを心掛けていきたい
- ・ 挨拶、言葉遣いを大切にしていこうと思う
- ・ 挨拶(2)
- ・ 気持ちの良い挨拶、返事を大切に働いていきたい
- ・ 笑顔、丁寧、思いやりを大切にしたい！
- ・ まずは笑顔から、始めたい・頑張ろうと思った(3)
- ・ 笑顔・笑顔をモットーに(5)
- ・ 笑顔を、意識したい・意識して仕事をしたい(2)
- ・ 挨拶をすることはとても大事であると学べたので、今後も挨拶はしっかりしていきたいと思う
- ・ 言葉遣い、挨拶、笑顔を心掛け、不安を原動力に、失敗を糧に頑張りたいと思った
- ・ 価値観は人それぞれ異なるが笑顔は共通であると学び、笑顔を大切にしていこう
- ・ 笑顔で(と)あいさつ(3)
- ・ 笑顔や挨拶に気をつけ、心掛けていきたいと思った
- ・ 笑顔で毎日過ごす・対応していく・心掛けていこうと思う(3)
- ・ 笑顔を心掛けて・大切に、患者さんと関わりたいと思った(2)
- ・ 笑顔で仕事をするのを忘れないようにしようと思った(2)
- ・ 笑顔と明るい対応を、意識せず行えるように習慣化していく
- ・ 普段真顔で患者に接してしまうことがあるので、笑顔を心掛け、声掛けをしながら今後看護していこうと思った
- ・ マスクをしていますが、笑顔を作って患者に接することができるようにする
- ・ マスクをしているからこそ相手への配慮(感染)はあったが、接遇としての配慮は忘れていると思う。マスクの中で笑顔を絶やさないような看護師になる
- ・ マスクをつけていると、思っている以上に怖い顔をしているのだと思った。笑顔は大切だと思った
- ・ 1人が悪い対応をしてしまうとゼロになるので、その点に気をつけたい
- ・ 100-1。-1の1人に自分がならないよう、意識したい・相手に対する印象を良くしたい(2)
- ・ 100-1=0、1人の方がダメでも全体がダメになること
- ・ 100人のうち99人が素晴らしくても1人が残念だと0になってしまうため、自分も素晴らしい行動をすること。もちろん呼びかけの行動をすることも大切だと思った

2. 講演『人生100年時代の到来と看護の未来 「いのち・暮らし・尊厳をまもり、支える看護への道」』を聞いて。

(講師：川崎医科大学総合医療センター 看護部長付参与 山田 佐登美 氏)

A.

a.大変勉強になった	114名	c. 勉強にならなかった	3名
b.勉強になった	108名	d.全く勉強にならなかった	0名

(午前のみ受講1)

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ 勉強になった
- ・ 新人だけでなく、とても有意義な講義だった
- ・ 頑張る
- ・ 看護師としての責任感を持つことができた
- ・ 改めて看護の役割を見直そうと思った
- ・ 看護師の役割を果たせるように励んでいきたい
- ・ 聞きやすく具体的エピソードもあり面白かった
- ・ 多能性を持った看護師になろうと思う
- ・ とても分かりやすく、これからの実践に生かせるよい勉強になった

- ・ 看護師をしていく上で大切なことを、また思い出せたような気がする
- ・ これからの看護人生を考えると不安しかないが、資格に誇りを持ち頑張っていきたい
- ・ 看護師としてこれから求められることが増えてくるのが分かった
- ・ これから働くうえで、どのように看護師として行動していくかの参考になった
- ・ 看護とは何か、基本的なことを考えることができた
- ・ 働き始めて日々の業務を行う中で、看護とは何かということが分からなくなり悩んでいたの
で、看護とは何かということを変更して考えることができた
- ・ 4月から働きだしたが、看護とは何か見出すことができていなかった。今回の研修で看護とは
何か少しだけ見出すことができた
- ・ 看護師の役割やあり方を学んだので、患者さんとたくさん関わりを持っていきたいと思った
- ・ 今後看護師としてどのようなことが必要なのか、改めて考えることができたと思う
- ・ 今後看護はどうなっていくのか、自分にも改めていけるところはないかを考えて行動していきたい
- ・ 時代と共に求められる看護も変化はあるかも知れないが、基本は変わらないことが分かった
- ・ 看護師の役割は、他の職種より複雑で多様なニーズに応じていくことで果たせる
- ・ 自分で判断できる力をつけて、自律性を有する看護師を目指したい
- ・ ジェネラリストになれるよう、経験を積む・目指していこうと思った(2)
- ・ 自分のできることをしていこうと思った ・ やればできる、と自信を持ちたいと思う
- ・ できないこともたくさんあるが、患者さんの立場にまだ近いので寄り添っていったらと思った
- ・ 全てのお話に感動した。明日から患者様のため、自分のため、病院のために頑張っていこうと
思った。ありがとうございました
- ・ 新人だからできなくて大丈夫、溜め込まず吐き出すことが大切、いろんな人に感謝を忘れない
ことを学んだ
- ・ 知識や技術も大切だが、何よりも人としての心が最初にあるべきものだと感じた
- ・ 失敗が多く毎日悩んでいるが、経験を積みながら学びを深めていこうと思った
- ・ 新人である今、感じたこと、違和感を持ったことを発言できるよう努力したい
- ・ 小さなことでも思ったことを口に出していきたい！
- ・ 疑問等、小さな事でも聞いたり発信できるようにしたいと思った
- ・ 発信する力をつけて、疑問なことなど話し合いの場を設けられるようにする
- ・ “看護師”として、看護師だからこそできる事・気づける事を周囲に流されず少しずつ発信・実
践できるようになりたい ・ 必ず朝は来ると思い頑張る
- ・ 看護の疑問を持ち続けていきたいと思った ・ 自分自身の意識を変えていこうと感じた
- ・ 看護ケアや医療的行為に根拠を持って実施し、看護師1年目だからこそ気づける患者さんの思
いに寄り添っていききたいと思う
- ・ 新人だから分かる患者様の気持ちを、ボソッと一言言ってみようと思う
- ・ 根拠を持って、看護・技術ができるようにする(2)
- ・ 自分が行う行動に全て根拠を考え、曖昧なまま技術を提供しないようにしたい
- ・ Drの指示で動くだけでなく、投与の目的・効果・副作用など自分も知った上で処置・ケア等を行う
- ・ エビデンスを考え、正しく確実に患者のために勉強し、技術を磨いて看護師として頑張っていきたい
- ・ エビデンスを明確にし、何が必要かどう援助するかアセスメント能力を高めたいと思った
- ・ 患者がその人らしくいられるように、自分のアセスメント能力を伸ばしていきたい
- ・ 患者さんと何気なく関わるのではなく、看護の専門性を伝え、意思決定に繋げることが大切
- ・ 現状を知り、看護師という専門職で、その人の生活をみるということを忘れないようにしたい
- ・ ルーチン化とならないように意識していきたい

- ・ ルーチン化していることはたくさんあると思った。改めて患者の立場になって考えるようにしたい
- ・ 一人ひとりの患者さんに個別性のある対応をし、ルーティーン業務にならないようにしたい
- ・ 業務がルーチン化しているのは気づいていても、今は慣れることが大切で“おかしい”と気づけないこともある。しかし、今後は通常からの逸脱に気づけるようになりたい
- ・ 入院や入院中の出来事は、本人にとっては非日常であることを忘れない
- ・ 尊厳
 - ・ 尊厳を持った関わり・看護。患者を一人の人として大切にしたい看護を行う
- ・ 清拭や口腔ケアが「尊厳を見出す」ケアで、という言葉が印象に残った。「患者のために」から「患者の立場で」という発想の転換を心掛けたい
- ・ ケア一つとっても、ただ本人ができないから行うというだけでなく、尊厳を保ちながら行う。尊厳を見出すことが大切。尊厳を忘れることなくケアをしていきたいと思った
- ・ 患者さんを・患者さんの気持ちを第一に考えて看護していきたいと思った(5)
- ・ 看護する対象は高齢者が多い。自分達より何十年も人生を過ごしてきた方に敬意や尊い気持ちを忘れず、相手の思いに寄り添える看護をしていきたいと改めて感じた
- ・ 患者さんの思いをくみ取り、自分に何ができるか考えて行動しようと思った
- ・ まだ日々の業務でいっぱいだが、患者が何を求めているのか考えながら援助していきたい
- ・ 患者の困っていること、思いに耳を傾けてそれを改善していくことに看護する意味がある
- ・ 患者さんが本当に支えを必要としているところをアセスメントできる看護師になりたいと思った
- ・ 患者さんとの対話・情報からアセスメントをしっかりし、患者さんのできることを伸ばしていきたい
- ・ 全く別の人間なので考え方・捉え方は違うが、その人らしさを支えることができるように看護にあたりたい
- ・ 笑顔を忘れず、患者一人ひとりの“その人らしさ”を見つける・考える・追求できるよう、看護できるようたくさん患者と話をしたい
- ・ 患者の生活に目を向けていこうと思った
 - ・ 思いやりを持って人と関わっていきたい
- ・ 安易に詰め所での内服管理、おむつの着用などをせず、患者さんの理解力やADLなどをアセスメントしていきたい
- ・ 日々の患者の状態を改めて考え直し、退院後の生活を見込んできちんと看護できるようになる
- ・ 作業的に業務を行うのではなく、ADLを考慮し、入院してもその人らしい生活であり続けられるよう、患者さんの意思をきちんと考えてケアしていくことが大切だと改めて考えた。今の自分にできることを全力でやろうと思う！
- ・ 業務化するのではなく、患者さんらしい生活ができるように関わっていきたいと思った
- ・ 退院に向けたケアを行っていくことは勉強していたが、働き始めてあまり意識できていなかったもので、これからは意識していきたいと思った
- ・ 少子高齢化が進むに従い、今後求められる看護は変わってくると思うが、患者の生活の質の向上を目指して頑張っていこうと思う
- ・ 看護師は、患者さんがその人らしく生を全うできるように支援していくという重要な役割があると分かった。新人は患者さんに一番近い存在として、一つひとつのケアや支援が、本当にそれが最善か考えながら行動することが大切だと思った
- ・ 高齢化社会になり今後それが進み医療提供できる場所も限られてくる、病院・施設だけでなく在宅でも過ごせるようセルフケアができる能力を奪ってはいけないということが分かった。今現在、転倒リスクがあるからと、リスクばかり気にして患者ができることを奪ってしまっていると思った。意味を持った看護をしなければならないと思った
- ・ 患今後在宅での療養が多くなると考え、患者さんが今できる力を衰えさせない、できることは自分で行えるように支援することも大切な看護だと学べた

- ・ 患者さんを大切にしながら、自分自身も大切にしていくことが重要だと分かった
- ・ 自立・自律を助けられる援助を行っていききたい
- ・ 人と関わるときは笑顔が大切と分かった
- ・ 笑顔を中心掛け、今できることを頑張ろうと思った
- ・ 自分、他者を大切にすることで看護が成り立つのだと思った
- ・ 一緒に働いている人と信頼関係を築いていくことが大切
- ・ チーム医療、社会保障について具体的に学び、今後の未来についても知れて勉強になった
- ・ チーム医療について改めて重要性を学び、役割についても知ることができた
- ・ チーム医療というのは医師・看護師など職種間の上下関係なく、どの立ち位置でもリーダーとなれるようにしていくことが大事だと学ぶことができた
- ・ これから人口が減ってどんどん医療は必要になっていく中で、チーム医療が大切だと思った
- ・ チーム医療の中の1人として役立てるよう、学んだことを活かしていきたい
- ・ チームのために自分は何ができるのか考えながら業務にあたっていく(2)
- ・ チーム力を高めるためにも、自分もリーダーであると思いながら動いていこうと思う
- ・ チーム力を高めるため、チーム全体で信頼し合い連携・協力していかなければならないと思った
- ・ つぶやきを大事にして、よりよいチームワークで看護を行っていききたい
- ・ チームとグループの違いを知り、自分がその中で必要な存在になれるように頑張ろうと思った
- ・ 自分一人で業務を行うのではなく、チームで互いに助け合いながら業務を行っていききたい
- ・ 仕事が重なっても頼むことは絶対にできないと思っているが、相談してみることからチームの一員となれるのかもしれないと思った。“患者さんの為”が根底にあると思えたら、チームが変わっていくのかも知れないと思えた
- ・ 多職種一人ひとりが声を出していく大切さを学んだので、臨床でも生かしていきたい
- ・ チームワークを大事にし、自分の思っていることを声に出していけるようにしていきたい
- ・ チーム体制をとっている医療現場において、新人・新任看護師ができる強みは、最も患者に近い感覚を持っていることと知ることができた。今後のチーム医療で少しでも自分の考えを病棟の医療に活かすことができるよう発言していきたいと考える
- ・ 看護師に求められている役割について、日本の現状・傾向とともに学ぶことができた。専門職としての力の発揮や連携・協働の要としての役割を果たせるよう一日一日を大切にしたい
- ・ 専門職として正しい知識・技術を持ち、チームと協働していきたいと思った。日本の高齢社会に合わせた地域での医療・介護を目指し適切な医療の提供をしていきたい
- ・ 社会(チーム)で支えていくことの重要性が分かった
- ・ 協力の
- ・ 今の医療現場において多職種連携は欠かせない。医療技術が進歩している現代において高齢化は避けられない。未来を見据えた看護が必要だと思った
- ・ 今後は在宅へ帰られる患者さんも多くなるため、多職種が連携して包括的にケアしていくことが大切だと思った
- ・ 人生100年時代ということで必然的に看護の質が求められるが、専門職として仕事を語れるようになりたいと思った
- ・ 100年生きられる時代で、それを支えるのが医療であるため、その人がその人らしく最期を迎えられるよう包括的に支えていくことが大切であると学んだ
- ・ 現在は断続的に看護を行うため、地域包括ケアシステムを通して多職種の協働が大切になってきている。また、患者様ができることは自身で行っていただき、できないところをサポートすることが大切であると思った
- ・ 医療・介護・予防・住居・生活支援、5つの視点で包括的に考えていきたい

- ・ 地域包括ケアシステムについて詳しく知れた
- ・ 地域や他職種との連携を学ぶことができた
- ・ 時事的な情報を頭に入れようと思った
- ・ 国の考え方を知るためのアンテナを張ること
- ・ 患者さんに対して、国も変わっていくことが大切
- ・ 時代・社会情勢により看護のあり方が変わっていくのだと感じた
- ・ 時代に合わせて医療も変化していくため、今はどうなのかしっかり関心を持つ必要があると思った
- ・ 失敗してもポジティブに頑張ろうと思った
- ・ 自分の強みを活かす
- ・ 自分の良いところを見つけるのはなかなか難しいことだが、1日1個自分を褒めたいと思う
- ・ レジリエンスやセルフコンパッションなどの話を聞き、自分の良いところも見つめて、前向きに考えられるようにすることが大切だと分かった。「自分の声を聞く」、印象に残る言葉だった
- ・ セルフコントロールの教えがあったので、できることからやろうと思った
- ・ セルフコンパッションができるようになりたいと思った
- ・ ネガティブな気持ちを無視も抑制もせず感じ取ることを大切にしてもいい、その感情を反復させないよう気晴らしを見つけることが重要と感じた。未来は変えられる。考え次第だと思った
- ・ 排泄ケア関連の話には考えさせられるものがあった
- ・ トイレ排泄キャンペーンのことを聞かせていただき、おむつをしている患者さんの捉え方を変えていかなければいけないと思った
- ・ 排泄ケアのお話は、確かに“オムツ交換”ではなくケアとして認識した方が良かったと思った
- ・ 排泄パターンを把握していくことは大切だと思った
- ・ おむつの話。自尊心等を考えたら、尿器を当てて出す練習もできると思った
- ・ 新人の時の思い出して、また働こうかと思った
- ・ 医師のすぐ責任問題にする、という部分に大変共感した。とても気持ちの高ぶる講義だった
- ・ 幅広い内容だったのでもう一度資料を読み直していく。少しでも理解できるようにしていく
- ・ 難しい内容だった
- ・ レジューメが文字ばかりで見にくかった

3. 今、悩んでいることは何ですか？ また、今回の研修で何かヒントになることがありましたか。

【悩んでいること】

- ・ 悩みばかり
- ・ 人間関係
- ・ 先輩Nsとの関係性・コミュニケーション(3)
- ・ 慣れない環境
- ・ なじめない
- ・ 毎日仕事場に行くのが不安
- ・ 病棟が忙しくなると先輩に質問しづらく、その日できなくて次の日は休みで、その次の日に相談するのは遅いと分かっているが、質問や相談をしてよいものなのでしょう
- ・ 同僚が仲の良い二人組で心配だったが、気に掛けてくれる同期が他の部署にいるのでなんとかやっつけている
- ・ 職場に慣れない・仕事に慣れない(2)
- ・ 仕事がなかなか覚えられない(2)
- ・ 業務手順が覚えられない
- ・ 分からないことが多い
- ・ 自分にできることが少ないこと
- ・ 知識不足
- ・ 看護技術について
- ・ 点滴のルート確保が難しいこと
- ・ 排泄ケアが精神的に辛く、臭いに慣れることができない
- ・ たくさんすべきことがあり大変
- ・ 業務の多さになかなかついていけない
- ・ 覚えることが多くて覚えきれない
- ・ もっと効率よく丁寧に仕事をしたい
- ・ 毎日覚えることがたくさんあり、できないことや時間に一杯一杯になってしまう。毎日が不安
- ・ たくさん覚えることがある中で、要領が悪く毎日先輩の足を引っ張り、居残りばかりで仕事を時間内に終わらせることができないこと。「新人だから」と優しい先輩たちばかりだが、優しくされれば優しくされるほど辛くなる
- ・ 要領よく動けないこと

- ・ 業務がスムーズに進まない
- ・ 優先順位がまだ理解しきれていない
- ・ 仕事にやりがいを感じられない
- ・ 看護の必要性・重要性が見えない
- ・ 毎日忙しくてついていけない。残業が何時間もあるのに、時間外の手当がつかない
- ・ 朝早く情報収集しても必要な情報がとれず、先輩看護師に怒られる。そして仕事をしたくなくなる
- ・ 医師が傲慢すぎてチーム医療どころか意見も言えない病院の体質
- ・ 毎日緊張していて疲れた。病棟に行きたくなくて研修に来たというのが正直なところ
- ・ どんなに忙しいときでも、それが態度や表情に出ないようにしたい
- ・ 自分の焦りや不安が患者に伝わらないように行動する余裕が持てないことがある
- ・ 意識レベルが落ちていても1人の人間として声かけや態度を正したいが、空しくなる時がある
- ・ 患者さんの家族の面会があった時の家族との関わり方→不安や疑問を言われた時の返答に困る
- ・ 自分はNsに向いていないため辞めたいが、現実的に難しい
- ・ 他病院より給料が低い
- ・ 将来の職業（進路・働き方）
- ・ 転職
- ・ 私生活が充実しない

【ヒントになることがありましたか】

- ・ 前向きな気持ちでやっていきたい
- ・ 落ち込む日があってもいいんだと思った
- ・ 考え次第！ 未来は変えられる！
- ・ 辛くても、今が踏ん張り時だと思うので頑張る
- ・ つぶやく
- ・ 気持ちの切り替え、発想の転換方法を知ることができた
- ・ 不安があったり、できなくて落ち込む⇒振り返りをする。自分でもできること、挨拶などを一生懸命する
- ・ 覚えることの多さにいっぱいいっぱいになって、日々の看護の中で忘れそうになっていた大切なことを思い出すことができた
- ・ 毎日がいっぱいいっぱいの日々だが、自分と他者を大切に人と関わっていきたくてと思った
- ・ 研修前は、自分が行っている看護が本当に患者様の為になっているのか不安だった⇒今回の研修で仕事へのモチベーションが上がり、早く一人前の看護師になれるように頑張りたい
- ・ 人の役に立ちたいとの思いで看護師を目指したが、日々の業務で自分の役割はどこにあるのか考えることができなくなっていた⇒まず人を見る、目の前には患者がいるという責任があり、必要なことは何かをアセスメントすることが大切だと感じた
- ・ 知識・技術面以外でも、自分が看護師として今改善できる項目とは何かを、改めて考える機会をいただくことができた
- ・ 分からないことが多く、力になれていないと感じることが多いが、これから少しずつ知識や技術、思いやりの心を身につけていきたい
- ・ まだまだ何もできなくて先輩達の仕事を増やしてしまっている気がするが、一つ一つできることを増やして頑張っていこうと思った
- ・ 日々足りないと感じることが多いが、自分にできたことも見つけて前向きに取り組む
- ・ 同期と比べて手技の自立が遅れており分からないことが多い⇒今回の研修で、自分を認めていくことも大切にしようと思った
- ・ 技術がなかなか上手く実践できないことに悩んでいるが、技術は回数をこなしていく、そして技術よりも接し方などの方が今は大切だと感じた
- ・ 仕事に要領よくできない、優先順位・次に何をすべきかが分からないなどの悩みがあった⇒実際に先輩方が求めていることを知り、まずきっちりできる接遇から心のケアなどを頑張りがながら、徐々に先輩を見て学んでいきたいと思えるようになった

- 1人でできることが少なく先輩にも患者さんにも迷惑をかけてしまっていることが悩み⇒接遇や看護の役割などを学び、今の自分にできることを一つひとつ丁寧にやることや挨拶・笑顔でコミュニケーションをとるなどをしていこうと思った
- 自分にできることが少なく、いつまでも自信がない状態だったが、今の自分にできることを探して頑張ろうと思った
- 自分が他人よりできていないのではないかと悩んでいたが、先輩も同じ道を通っているということが分かり、自分も頑張ろうと思った
- 患者への援助に対して疑問が持てないことがある。新人であるのに気づきが少ないと思う⇒研修で看護師が在る本当の意味、新人だからこそできることを学べた。ご講義ありがとうございました
- 覚えることが多いがあまり覚えられている気がしないことが今の悩みだが、先輩方も新人の頃は同じようなことを思い、覚えることも重要だがそれ以上に態度で示すことが求められているということが分かり心が軽くなった
- 先輩から教えてもらっても、自信があまりなく何回も聞いたり確認したりしている。積極性があまりないと思われていて、頑張ろうと思ってもやるのが遅く変わらない。でも何回も確認することで、インシデントやコミュニケーションエラー等がなくなり覚えられるのかなと思った
- 辛いことがあった時に引きずること⇒何か良いことがあったら思い返して励ます
- 人と接することが辛い⇒関わることで得られる喜びもあることを知った
- 自分が行っているコミュニケーション方法等、社会人としてのあり方に不安を持っていたが、人との関わり方等が学べた
- コミュニケーション・時間管理に悩んでいる⇒まず笑顔と何気ない声掛けが大切であることが分かった。アセスメントするうえで、患者様が自宅へ退院する時に何に困るのか・何ができていないのかということを理解・把握することが大切だと思った
- 懸念を持ったり、患者さんにとっての最善を考えたい
- 患者さんとの接し方が今の状態で良いのかと思う時がある⇒焦らずゆっくり考えながら、今できる自分の看護をしていきたい
- 患者さんの家族への対応や電話対応が苦手だったが、どういう方法で対応していけばよいのか学ぶことができた。明日から学んだことを実践していきたいと思う
- 人間関係で先輩が怖いと思っていたが、もう少し関わってみようと思った
- 入職し、まだ何もできない・辞めたいと思っているが、先輩方の気持ちが少し分かった気がした
- 先輩との関係⇒普段の関わりから信頼されるような人になっていく
- 自分の思っている不安と、先輩が望んでいることは必ずしも同じではなく、知識や技術の向上と合わせて、新人としての姿勢を十分気をつけていこうと思った
- 先輩との人間関係に悩んでいたが、素直に分からないと言ったりははっきり受け答えをしていきたい
- 先輩Nsがこわい⇒でも変わらず笑顔で挨拶していこうと思う
- 先輩に自分の意見を言うことができない⇒根拠のあることを分かっていると伝えやすいと感じた。また新人であり、違っていることもあると思い、思い切って伝えてみるとよいと思った
- 時間管理が難しいと悩んでいた⇒困った時はすぐに相談しようと思った
- 先輩が新人に求めていること、知りたかったので受講して良かった
- 3か月目で求められていることは何か考え、仕事していこうと思った
- “今自分に先輩から求められているもの”という項目の話で、どう病棟で居ればいいのか、という悩みに少し考えが変化した
- 早く業務に慣れないと、と思ってもなかなか自分が思うように動けず先輩に迷惑をかけていると思っていたが、先輩たちが今自分たち新人に求めているものが知識や技術ではないこと

が分かり、少し安心した

- ・ 自分から上司に分からないことが分からない、と言うことができないが、上司は新人に技術よりも人間性を求めているのだと分かったため、気をつけていこうと思った
 - ・ 分からないことにぶつかった時に、その都度聞いていけばいいと思えるようになった
 - ・ 仕事に慣れるのが大変。患者さんと接するときになかなかスムーズに話せないことがあったが、今日の研修を参考に見ようと思った
 - ・ マナーを何よりも大切にしていく
 - ・ 患者さんに誠実に対応する(2)
 - ・ まだ学生言葉が抜けず敬語が難しい⇒敬語、患者さんや先輩に対する姿勢について学べた
 - ・ 誰も教えてくれる人がいない（コンシェルジュが自分1人）ので、常に手探りで接遇していてすごく不安だった。だが講演を聞き自分の接遇に自信が持てた
 - ・ 心地よい接遇は患者さん一人ひとりで感じ方が違う。個別性に合わせた接遇を身につけていきたい
 - ・ 相手の立場に立って考えることが苦手⇒自分も看護師である前に一人の人である、という言葉は新鮮だった
 - ・ 命を預かる現場だからこそ笑ってごまかす場ではないと思っていたが、笑うことが必要な場面もあると思うと少し楽な気持ちになることがあった
 - ・ いつも笑顔を中心掛け、伝え方を丁寧にしていこうと思う
 - ・ 笑顔
 - ・ 笑顔と挨拶を続けていきたい
 - ・ 笑顔を忘れず頑張りたい(2)
 - ・ 表情の使い方など
 - ・ 表情の大切さが分かった。今後活かしていきたい
 - ・ 今特に悩みはないが、学んだことを活かして、より良い看護を行えるように努力したい
 - ・ 新人と一緒に研修に参加した。目的は「人生100年時代の到来と看護の未来」だったが、接遇も新人の心に残る内容だった。とても感動し明日から自院でも皆に話していきたい内容だった
 - ・ 悩みは特にない
 - ・ 悩みはない。一生懸命頑張る
-
- ・ 会場の空調が効き過ぎて寒かった。講義に集中できなかった
 - ・ 食事会場が臭くて、気分が悪くなった・最悪だった(2)

【年 齢】

19～24歳 (175)
25～29歳 (14)
30～34歳 (14)
35～39歳 (8)
40～49歳 (5)
50歳以上 (2)
未記入 (8)

【勤務年数】

～6ヵ月未満 (191)
6ヵ月～1年未満 (0)
1年～5年未満 (16)
5年～10年未満 (5)
10年～15年未満 (2)
15年～20年未満 (2)
20年～30年未満 (2)
30年以上 (2)
未記入 (6)

【職 種】 看護師 (218) 准看護師 (4) ナースエイド (1)
看護部長 (1) 未記入 (2)